

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年02月19日

計画の名称	安全・安心でみんなが元気に暮らせるまちづくり												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	東郷町												
計画の目標	本町は、名古屋都市圏の東部を南北に延びる尾張丘陵の一角に位置し、北東部の丘陵を最高点として西南方向に低くなる起伏に富んだ地形です。町域南部の低地部を境川が流れ、東部には緑の豊かな丘陵地が広がり、前川や春木川などの小河川が境川に流下しています。町の北東部には人口池の愛知池が造られ、愛知用水が西方に流れています。また、本町は平成15年に東南海・南海地震防災対策推進地域、平成16年に東海地震に係る地震防災対策強化地域に指定されており、同地震が発生した場合の最大震度は6強と予測されています。このため災害時には、住宅等の建物倒壊や火災発生等の被害が想定されています。このような中、地震や風水害などの災害に対して、人々の防災意識が高まっており、これからも引き続き子どもたちや高齢者を守りすべての住民がいつまでも住み続けたいまちづくりを進めていきます。今回の計画では消防水利の充実や災害発生時の生活用水等の利用を図るために耐震性貯水槽の整備や、災害時に避難所となる町内小中学校への防災備蓄倉庫の整備を進めます。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	46	A	37	B	0	C	9	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	19.56	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	耐震性貯水槽の設置数を21箇所(H26)から23箇所に増加 耐震性貯水槽設置率	15%	16%	17%
2	町内の小・中学校における防災備蓄倉庫の設置数を1箇所(H26)から9箇所へ増加 町内の小・中学校における防災備蓄倉庫設置率	11%	78%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	東郷町	直接	東郷町	-	-	A-1 都市防災総合推進事業(地区公共施設整備)	耐震性貯水槽(公園1箇所)	東郷町						11	-	
	A13-002	都市防災	一般	東郷町	直接	東郷町	-	-	A-1 都市防災総合推進事業(地区公共施設整備)	耐震性貯水槽(公園1箇所)	東郷町						12	-	
	A13-003	都市防災	一般	東郷町	直接	東郷町	-	-	A-2 都市防災総合推進事業(防災まちづくり拠点施設整備)	防災備蓄倉庫(避難所8箇所)	東郷町						14	-	
												小計						37	
												合計							37

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	東郷町	直接	東郷町	-	-	C-1 防災用資機材整備事業	防災用資機材の整備（浄水器、リヤカー、発電機等）	東郷町						9	-		
		A-2と一体に整備することにより、被災時における避難施設の防災対応力向上を図る。																		
													小計						9	
													合計						9	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 東郷町総務部安全安心課	事後評価の実施時期 令和2年度
	公表の方法 東郷町ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	耐震性貯水槽を整備することで災害における消防水利の充実が図れたほか、小中学校避難所における防災倉庫の整備により災害対策物資の分散備蓄が図れた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	災害対策物資を防災倉庫と一体で整備したことにより、避難施設における防災対応力は向上した。
特記事項（今後の方針等）	
町内の消防水利の整備を継続的に進める。 災害物資の分散備蓄を進め、より迅速な災害対策を進める。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	17%	
	最終目標値	17%
	最終実績値	17%
2	100%	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%